

函館博物館 企画展

## 能登川コレクション展

～考古学に魅せられて・能登川隆の生涯～

「能登川コレクション」は、考古学に興味をもち、大正期から昭和30年頃にかけて、独学で函館市内やその周辺の遺跡調査、土器、石器などの収集を行い、まちの考古学研究者として知られる存在であった故能登川隆氏が収集した考古コレクションです。

北海道および函館市の指定文化財などで構成され、学術的にも貴重な資料群を収集したもので、考古資料のなかでも基幹コレクションとして広く知られており、その全容と背景を紹介します。

また、能登川家が経営していた「まるみ精肉店」に関する資料も展示します。

期間 6月13日(火)～8月27日(日)

時間 午前9時～午後4時半(観覧は午後5時まで)

会場 函館博物館

入館料 一般300円、高校・大学生200円、  
小・中学生100円、幼児無料

※ 市内在住・在学の小中学生は無料。その他無料・減免適用あり。

休館日 7月17日を除く月曜日、7月18日(火)

お問合せ 函館博物館 ☎23-5480



▲かめ形土器 恵山貝塚出土  
函館市指定文化財

▲骨製スプーン 恵山貝塚出土  
函館市指定文化財

▲骨角製銛 恵山貝塚出土  
函館市指定文化財



函館山と高田屋嘉兵衛像

日本遺産とは  
地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形のさまざまな文化財群を、地域が主体となつて総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことを目的としています。

北前船寄港地が  
日本遺産に認定  
されました

このたび、函館市を含む11市町が共同で申請したストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」が、29年度日本遺産の認定を受けました。

## ストーリーの概要

日本海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。

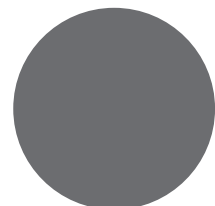
これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

## 所在自治体

函館市・松前町(北海道)、鯉ヶ沢町・深浦町(青森県)、秋田市(秋田県)、酒田市(山形県)、新潟市・長岡市(新潟県)、加賀市(石川県)、敦賀市・南越前町(福井県)

お問合せ コンベンション推進課

☎21・3453



JAPAN HERITAGE

日本遺産